

2024年度

## 国立感染症研究所 感染症市民公開講座（シラバス）

講義方法	Zoom Webinarによるオンライン	科目名	感染研市民公開講座				副題	知らなかった、感染症の「へー、そうだったんだ！」			
連携機関名	国立感染症研究所	水準	中級	教室定員 (リアルタイムオンライン)	500	配信定員	なし	講義日時	火曜日 18:30～20:00 (3週ごとに開催)	拠点 (開講機関)	国立感染症研究所 (東京都新宿区戸山)
科目概要	感染症に関して、普段なかなか知ることができない「へー、そうなんだ」的な知識をお伝えします。また、感染症に立ち向かうために、感染症研究の専門機関、特に国立感染症研究所が果たしている役割についても紹介します。 高校生以上が理解できる内容としますが、参加の年齢制限は設けません。講義当日にリアルタイムで参加できない方は、約3週間の振り返り視聴をご覧ください。										

科目構成	No.	講義タイトル	講義概要(講師より)	講義日	開講場所	事務局	講師	所属
全6回	1	アデノウイルス・エンテロウイルス概説	アデノウイルスとエンテロウイルスについて分かりやすく解説します。これらのウイルスは一般的な感染症(風邪、胃腸炎、結膜炎)から重篤な感染症まで幅広い疾患を引き起こします。講演は、感染症に対する理解を深め、対策や病原体についての知識を深めることが出来る内容とします。	2024/6/4	Zoom Webinarによるオンライン形式 (事務局:国立感染症研究所戸山庁舎)	森 修一 藤本 嗣人 加納 和彦 山本 明範 小林 望 総務部調整課 葛西 真治	藤本 嗣人 (ふじもと つぐと)	国立感染症研究所 真菌部 主任研究官
	2	天然痘とエムボックスとワクチンの歴史 - そこに絡まる人類の思惑 -	天然痘、エムボックス(サル痘)の原因ウイルス、これらに対するワクチンに使用されているワクシニアウイルスは全てポックスウイルスというグループに属している近縁のウイルス達です。これらのウイルス達と人類との歴史に着目すると、そこには人間の思惑が深く入り込み影響を及ぼしています。本講座ではこの"思惑"を紹介しつつ、これらのウイルスについて解説します。	2024/6/25			吉河 智城 (よしかわ ともき)	国立感染症研究所 ウイルス第一部 主任研究官
	3	実地疫学って何だろう？実地疫学専門家は何をしている人？	実地疫学(Field epidemiology)は、病気(感染症)への対応や予防策を計画するための活動、または、それらに必要な知識・技術を学ぶ学問です。実地疫学を実践するのは実地疫学専門家(Field epidemiologist)であり、彼/彼女らはアウトブレイク探偵と呼ばれることもあります。ではアウトブレイクの無い「平和」な時には何をしているのでしょうか？ 実態を覗いてみましょう。	2024/7/16			島田 智恵 (しまだ ともえ)	国立感染症研究所 実地疫学研究センター 室長
	4	マイコプラズマ学への招待：自己増殖可能な最小の細菌の話	「マイコプラズマ肺炎」という病名は時々耳にしますが、マイコプラズマとは何でしょう？マイコプラズマとは自己増殖が可能な最小の細菌の一群です。主に動物の粘膜部位に生息しており、病原性を持つものだけではなく、多数の種が存在しています。マイコプラズマとはどのような性質の細菌なのか、どんな研究が行われているのかを紹介いたします。	2024/8/6			見理 剛 (けんり つよし)	国立感染症研究所 細菌第二部 部長
	5	ハンセン病と医学 - 日本と世界 -	ハンセン病は少なくとも数千年の歴史を持ちますが、その歴史は1943年のスルホン剤登場以前(難治の時代)と以後(可治の時代)に大きく区分されます。後者は現在まで、わずか80年ほどの短い期間ですが、隔離からの解放と外来制度の進展、人権問題の克服への劇的な変化の時代です。本講義ではハンセン病研究の現状と、隔離政策の成立と進展に近代医学はどのような影響を与えたのかを中心にお話をしたいと思います。	2024/8/27			森 修一 (もり しゅういち)	国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 主任研究官
	6	鼻と腸でウイルスを抑制せよ！呼吸器ウイルスの新しい制御法の研究	2023年、鼻スプレータイプのインフルエンザワクチンの国内での製造販売が承認されました。そこでこれまでの注射タイプとの特徴の違いについて分かりやすく説明します。後半では、新型コロナウイルスのあまり知られていない腸での増殖能についてご紹介します。このウイルスが腸で増えたと何が起るのか、そしてそれを抑制する方法とは？私たちの最新の研究成果とともに解説します。	2024/9/17			宮川 敬 (みやかわ けい)	国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器系 ウイルス研究センター 室長